

中期経営計画

(平成 23 年 ~ 平成 25 年)

平成 22 年 12 月

京葉ガス株式会社

目 次

. はじめに	P 1
. 環境認識	P 2
. 事業の方向性	P 3
. 10年後のありたい姿	P 3
. 事業課題	P 4
. 経営目標および主要計数	P 5
. 重点課題	P 6
1.お客さまの安全で快適な生活に貢献	P 6
(1) お客さまサービスの向上	P 6
(2) お客さまとの関係強化	P 7
(3) 保安の確保と安定供給	P 7
2.低炭素社会の実現に貢献	P 9
(1) 天然ガスの普及拡大と高度利用	P 9
(2) 再生可能エネルギーの利用促進	P 9
(3) 新技術の開発・導入	P 10
3.持続的発展を見据えた総合力の強化	P 11
(1) 経営基盤の強化	P 11
(2) 人財の強化	P 11
(3) IT活用の深化	P 11
(4) 社会貢献の推進	P 12

はじめに

当社は平成 19 年 12 月に中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）を策定し、お客さまサービスの向上や保安の確保などの目標達成に向けて全社一丸となって取り組んできました。金融危機に端を発した世界同時不況の影響によりガス販売量が落ち込むなど一部の経営目標の達成は厳しい状況にありますが、目指すべき企業像である「お客さま満足度 No.1 エネルギー事業者」の実現に向けた取り組みを着実に展開してきました。

そのような中で、低炭素社会の実現に向けたエネルギー政策が次々と示されるなど、エネルギー業界を取り巻く環境は急激に変化しています。こうした変化を踏まえて、日本ガス協会より示された「Gas Vision 2030」では、都市ガス業界が低炭素社会の実現に貢献しつつ将来にわたり持続的に成長する方向性が描かれています。また、平成 22 年 6 月に閣議決定された「エネルギー基本計画」では、「天然ガスは低炭素社会の早期実現に向けて重要なエネルギー源であり、天然ガスシフトを推進すべき」とされています。

こうしたエネルギー・環境を巡る大きな転換期においては、イノベーション（変革と創造）によるガス事業の深化とエネルギーサービスなどの周辺サービスの充実で「天然ガスシフト」を推進し、低炭素社会の実現に貢献することが必要となります。また、当社、グループ会社およびビジネスパートナーが一体となってお客さまに提供する価値を上げていくことが重要になります。このような認識から、新たなスタートラインとして「中期経営計画（平成 23 年～平成 25 年）」を策定しました。

本中期経営計画は、「10 年後のありたい姿（オール京葉ガス で地域密着体制を強化してお客さま満足度 No.1 エネルギー事業者を実現している）」を見据えて、今後 3 年間で取り組む施策を明確にしたものです。

当社は、持続的に発展していくための基盤を強化して、お客さまの安全で快適な生活と低炭素社会の実現に果敢にチャレンジしてまいります。

オール京葉ガス：京葉ガス(株)、グループ会社、お客さまから見て京葉ガスと一体とみなされるビジネスパートナーで構成される連携体制

．環境認識

地球温暖化問題の進展

平成 32 年（2020 年）における温室効果ガスの排出量を平成 2 年（1990 年）比で 25%削減する政策目標を達成するために、再生可能エネルギーの大幅導入に向けた具体的な政策が推進されます。

当社は環境性に優れた天然ガスの普及拡大や高度利用に積極的に取り組むことで天然ガスシフトを推進して、低炭素社会の実現に貢献する必要があります。

エネルギー需要構造の変化

家庭用分野においては少子高齢化により住宅着工件数の低迷が予測されるなかで、世帯人員の減少、住宅構造の高気密化、高効率機器の普及などにより世帯当りエネルギー需要量の減少が予想されます。また、業務用分野においても省エネルギーが一層進んでいく見通しです。

家庭用・業務用ともにエネルギー需要量の大幅な増加が見込めないなか、お客さまとの関係強化など都市ガスを選んでいただくための取り組みが重要になります。

エネルギー市場の競合激化

エネルギー間の競合は一層激しくなる見通しであり、既設住宅における電化は新設市場以上に高い成長率を示しています。産業用需要は天然ガスの環境性を背景に拡大が見込めるものの、空調用需要や厨房用需要は電化との競合が激化しています。

省エネ性・環境性、お客さまサービスなどの付加価値を高めることで、競争力を強化していくことが重要になります。

安心安全への要請の高まり

一連の CO 中毒事故を契機に都市ガス業界ではお客さまの安全確保と信頼回復に取り組んでおり、今後もお客さま先での事故防止に向けた取り組みを進める必要があります。

また、震災時の災害防止と復旧早期化に向けた施策を進めることが求められており、引き続き防災対策を着実に推進する必要があります。

原料調達環境の変化

北米におけるシェールガス などの非在来型天然ガスの開発により LNG 需給は緩和の傾向にありますが、世界的な人口増加や新興国の経済成長に伴い、エネルギー需要は長期的に増加していくことが予想されるため、LNG 調達動向は依然不透明な状況が続くものと考えられます。

今後も安定的に価格競争力のある都市ガスを供給するために、原料のベストミックスによる安定購入をベースに、原料価格の抑制に努める必要があります。

シェールガス：泥土が堆積して固まった岩の層に閉じ込められているガスで北米に多く分布している。

当社を取り巻く独自の経営環境

当社供給エリアは首都圏に位置していることから、人口・世帯数は全国平均が減少していくなかでも一定レベルで維持される見通しとなっています。一方、燃料転換による需要増が見込まれる工場等の産業用需要については、未開発の潜在需要は限定的となっています。

これらの状況を踏まえると、大幅な都市ガス需要の増加を見込める要素は限定的であり、今後も地域に密着しながらお客さまサービスの向上等により市場深耕を図る必要があります。

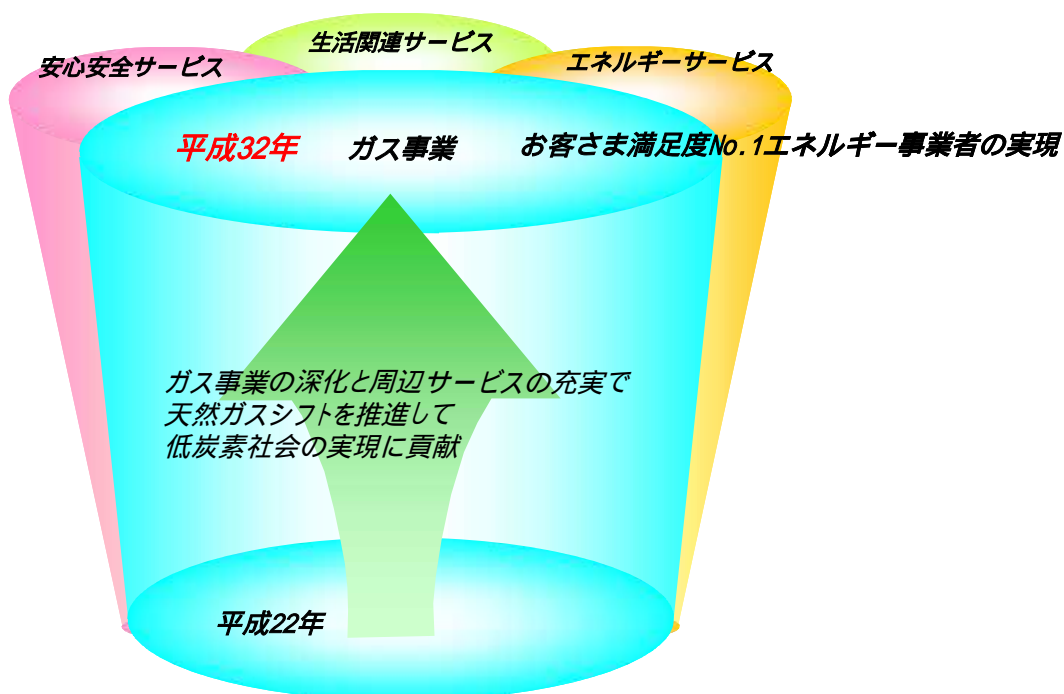
．事業の方向性

環境認識を踏まえ「お客様の安全で快適な生活に貢献」「低炭素社会の実現に貢献」「持続的発展を見据えた総合力の強化」の3つの事業課題に取り組み、イノベーション（変革と創造）によるガス事業の深化と周辺サービスの充実で天然ガスシフトを推進して低炭素社会の実現に貢献いたします。

今まで		【環境認識】	今 後
地域の発展に伴う急激な需要増にお応えするための基盤を中心に整備してきました。		地球温暖化問題の進展 エネルギー需要構造の変化 エネルギー市場の競合激化 等 エネルギー需要が鈍化するなかでは、低炭素社会の実現に貢献しつつ、お客様満足度を高めることが求められます。	「オール京葉ガス」の総力を結集して、イノベーション（変革と創造）によるガス事業の深化と周辺サービスの充実を図ります。 ガス事業の深化 地域密着体制の強化による 85 万件のお客様に提供するサービスの向上 周辺サービスの充実 エネルギーサービスなどの周辺サービスの充実による総合的な提案力の強化
達成年	お客様数	【事業課題】	
昭和 51 年	20 万件	お客様の安全で快適な生活に貢献	
昭和 61 年	40 万件	低炭素社会の実現に貢献	
平成 7 年	60 万件	持続的発展を見据えた総合力の強化	
平成 18 年	80 万件		

．10年後のありたい姿

事業の方向性に基づく10年後の到達点「オール京葉ガスで地域密着体制を強化してお客様満足度No.1エネルギー事業者を実現している」を10年後のありたい姿とし、その実現に向けて取り組みます。



．事業課題

本中期経営計画（平成 23 年～平成 25 年）では、事業課題ごとに重点課題を設定しました。

事業課題 1：お客さまの安全で快適な生活に貢献

地域に密着した身近なエネルギー事業者として、多様なニーズに対応した質の高いサービスや提案を提供することで、お客さまの安全で快適な生活に貢献します。

< 重点課題 >

お客さま
サービスの向上

お客さまとの
関係強化

保安の確保と
安定供給

事業課題 2：低炭素社会の実現に貢献

環境性の高い天然ガスの普及拡大・高度利用に加えて、再生可能エネルギーの活用や新技術の開発・導入を推進して低炭素社会の実現に貢献します。

< 重点課題 >

天然ガスの
普及拡大と高度利用

再生可能エネルギーの
利用促進

新技術の開発・導入

事業課題 3：持続的発展を見据えた総合力の強化

効率的な事業運営の推進、人財の活躍促進、お客さまサービスや業務効率の向上に資する IT 活用などの取り組みにより、持続的に発展していくための基盤となる総合力を強化します。

< 重点課題 >

経営基盤の強化

人財の強化

IT活用の深化

社会貢献の推進

経営目標および主要計数

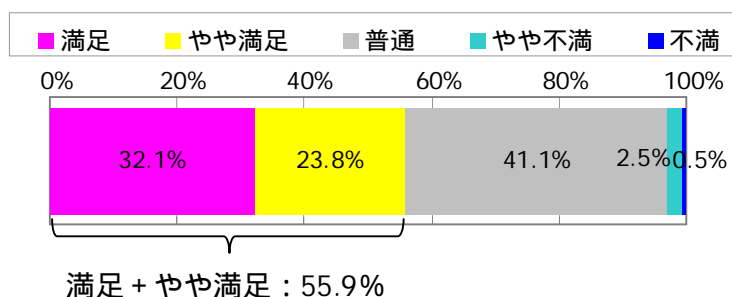
1. 経営目標

総合お客さま満足度：70%以上

京葉ガスの事業活動全般に対するお客さま満足度調査を実施しています。

5段階評価で「満足」「やや満足」の評価をいただいた比率70%以上を目指します。

《参考》 平成22年総合お客さま満足度調査結果



接点業務におけるお客さま満足度：90%以上

開栓、ガス機器修理、ガス機器取付、定期保安巡回、検満メーター取替、TES（ガス給湯暖冷房システム）修理でお客さま満足度調査を実施しています。

5段階評価で「満足」「まあ満足」の評価をいただいた比率90%以上を目指します。

《参考》 平成21年接点業務におけるお客さま満足度調査結果

業務	開栓	ガス機器修理	ガス機器取付	定期保安巡回	検満メーター取替	TES修理	平均
お客さま満足度	79.8%	90.1%	92.5%	80.7%	80.2%	87.1%	85.5%

保安の確保と安定供給：ガスの製造から消費にかかわる重大事故件数 ゼロ

当社に起因するガス事業法施行規則第112条の詳報ガス事故およびお客さま先でのガス機器使用に伴う死亡事故。

2. 主要計数

お客さま件数

	平成21年実績	平成22年見込	平成23年計画	平成24年計画	平成25年計画
お客さま件数（千件）	848	854	860	866	870

ガス販売量

	平成21年実績	平成22年見込	平成23年計画	平成24年計画	平成25年計画
ガス販売量（百万m ³ ）	671	694	690	695	700

重点課題

1. お客様の安全で快適な生活に貢献

(1) お客様サービスの向上

お客様に提供しているサービスの品質を向上させるとともに、ガスの付加価値を高めるサービスやお客様の快適な暮らしをサポートするサービスを展開します。

現行サービスの品質向上

お客様から寄せられるお申し出や各種アンケート結果を把握・分析して改善に活かす仕組みに磨きをかけるとともに、ガス機器修理体制や Web サイトの充実を図ることで、お客様に提供するサービス水準の向上に取り組みます。

< 中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）における取り組み >

お客様友の会の設立

お客様から当社の活動に対し率直なご意見をいただき、より一層のサービス向上につなげるため、平成 21 年より「お客様友の会」を設立しました。会員の皆さまには 1 年間を通じて当社の施設やイベントを見学・体験していただき、ご意見を頂いています。



お客様コールセンターのサービス提供時間拡大

平成 22 年 5 月より各種お申し込みやお問い合わせを承る「お客様コールセンター」と「お引越し専用電話」の土曜日の電話受付時間を 2 時間延長して 9 時～19 時としました。また「お引越し専用電話」は日曜・祝日の受付（9 時～17 時）を開始しました。



周辺サービスの充実と深化

ガス機器メンテナンスリース、ホームセキュリティなどの周辺サービスを充実させるとともに、ガス事業を基点とした新たなサービスの創出に取り組むことで、お客様に安全で快適な暮らしをお届けします。

< 中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）における取り組み >

ガス機器メンテナンスリース制度「おまかせ・リース」の開始

お客様に安全・安心・便利にお料理を楽しんでいただけるよう全口のバーナーに安全センサーを搭載した「Si センサーコンロ」を、月々のお手軽なリース料金でお使いいただける「おまかせ・リース（期間 6 年）」の取り扱いを平成 22 年 10 月に開始しました。



ホームセキュリティサービスの提供開始

平成 20 年 7 月より開始した京葉ガスホームセキュリティは、株式会社全日警と提携した住宅向けの機械警備サービスです。警備員の現地への出動をはじめ、ご自宅の防犯サービスなど安全で安心な暮らしを 24 時間 365 日お手伝いします。



(2) お客さまとの関係強化

あらゆる業務機会を活用してお客さまとのコミュニケーションを深めるとともに、環境性や経済性の高い提案を行うことでお客さまのご要望に応えていきます。

家庭用営業

エネファームやエコジョーズなどの環境性や経済性に優れた商品を提案するとともに、体験型ショールームの有効活用や各種イベントを通じて、お客さまに「ガスによる快適で豊かな暮らし」をお伝えします。さらには、きめ細やかなサービスを提供するために、営業体制を強化してお客さまとの距離を縮めます。

業務用営業

「涼厨®」（低輻射型ガス厨房機器）や超高効率 GHP の普及を図るとともに、高度化・多様化するお客さまニーズを的確に把握して、省エネ・省 CO₂ に貢献できるエネルギーソリューション営業を展開します。また、IT を利用した遠隔監視システムの高度化やエネルギーセキュリティー提案の拡充に取り組むことでお客さまとの信頼関係を構築します。

「涼厨®」は大阪ガス㈱の登録商標です。

< 中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）における取り組み >

お客さま数 85 万件達成

当社は昭和 2 年に設立し、市川市、松戸市、鎌ヶ谷市、浦安市、船橋市、柏市、流山市、白井市など千葉県北西部のお客さまに都市ガスをお届けしており、平成 22 年 2 月にお客さま数が 85 万件に達しました。85 万件に達することができたのも、当社をご愛顧いただいているお客さまや地域社会の皆さまのおかげと、心より感謝申し上げます。

(3) 保安の確保と安定供給

お客さまに安心してガスをお使いいただけるよう保安水準の向上と供給ネットワークの信頼性向上に継続的に取り組みます。

安全高度化施策の推進

お客さま先での重大事故を撲滅するために、安全型機器の普及促進や不良給排気設備の改善などの安全高度化施策に引き続き取り組みます。また、経年埋設白ガス管対策の推進により、鉄筋系建物は平成 27 年、木質系建物は平成 32 年の完了を目指します。

< 中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）における取り組み >

「業務用不完全燃焼警報センサ」無償貸し出しの実施

飲食店などで業務用ガス機器をお使いのお客さまにガスを安心してお使いいただけるよう、「業務用不完全燃焼警報センサ」の無償貸し出しを実施しています。平成 21 年から平成 23 年までの 3 年間に約 7,000 件のお客さまに対して無償貸し出しを行い、業務用厨房などでの CO 中毒事故の防止を目指します。



供給ネットワークの信頼性向上

ねずみ鋳鉄管¹、AJ鋼管²などの経年本支管対策に継続的に取り組み、ねずみ鋳鉄管は平成23年に対策を完了します。また、大規模地震発生時の早期復旧に向けた災害対策を推進することで、お客さまにガスをお届けする供給基盤を強化します。

1 鉄に黒鉛を混ぜて型に流し込んで作った管で、比較的腐食に強く丈夫である反面、衝撃に弱いという特徴があります。

2 麻布にアスファルトを含浸させたものを巻き付けた鋼管で、土壌特性や塗覆装の経年劣化により腐食が発生することがあります。

< 中期経営計画（平成20年～平成22年）における取り組み >

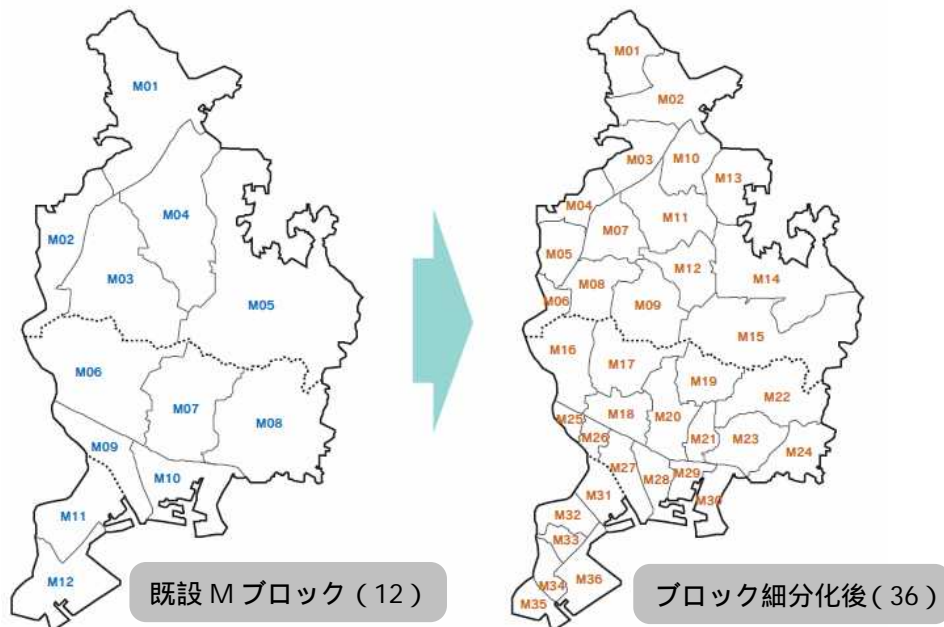
第二中央幹線の開通

第二中央幹線は、浦安供給所（浦安市舞浜）から北柏供給所（柏市柏の葉）を結ぶ延長51.8kmの基幹導管です。平成5年から建設に着手し、平成22年10月に開通しました。これにより、ガスの安定供給基盤が飛躍的に強化されました。



供給停止ブロックの細分化

大地震が発生した際にガスの供給を停止する区域（Mブロック）を、平成22年に12ブロックから36ブロックに細分化しました。これにより、1ブロックあたりのお客さま件数は5～10万件から2～3万件となり、やむを得ず供給停止するお客さま件数を抑えることができます。



2. 低炭素社会の実現に貢献

(1) 天然ガスの普及拡大と高度利用

環境性に優れた天然ガスの普及拡大に加え、高効率機器の積極的な普及促進活動などに取り組むことでお客さま先の CO₂ 排出量削減に貢献します。

家庭用分野

高効率ガス給湯器であるエネファーム、エコウィル、エコジョーズの積極的な普及促進活動を通じて、お客さまとともに環境貢献に取り組めます。

< 中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）における取り組み >

家庭用燃料電池エネファームの販売開始

平成 22 年より家庭用燃料電池エネファームの販売を開始しました。エネファームは、都市ガスから水素を取り出して発電する新しいエネルギーシステムです。自宅で発電し、その時に生じる熱を利用してお湯をつくりだすので、エネルギーを有効に使えます。



業務用分野

天然ガスへの燃料転換を推進するとともに、高効率ボイラ・高効率バーナーの導入や最適運転支援などの個々のお客さまのニーズに即した CO₂ 排出量削減提案を展開します。

< 中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）における取り組み >

浦安市総合体育館への ESCO サービス開始

県内の市町村では初となる浦安市総合体育館の ESCO 事業を受注し、平成 21 年よりサービスを開始しています。

ESCO サービスとは省エネルギー改修に必要な、技術、設備、人材、資金などを包括的に提供するサービスです。ガスコージェネレーションシステムはもとより、照明やポンプの省電力化から節水化に至るまで設備全般の省エネルギーをご提案し、その効果を ESCO 事業者（当社）が保証します。



(2) 再生可能エネルギーの利用促進

高効率ガス給湯器に太陽光発電を組み合わせたダブル発電システム¹・W エコシステム²などの新エネルギー利用システムの普及に取り組めます。また、太陽熱利用システムの研究・開発により再生可能エネルギーの利用拡大を推進します。

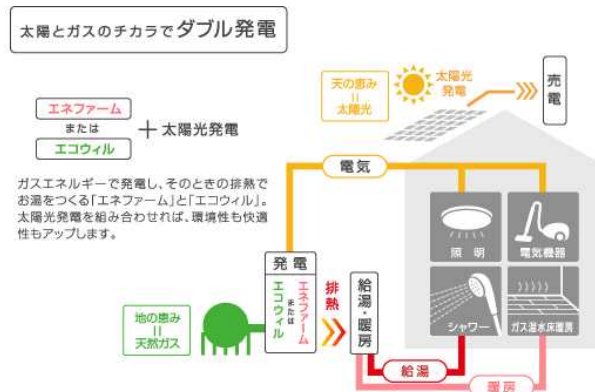
¹ ダブル発電システム：エネファームまたはエコウィルに太陽光発電システムを組み合わせたシステム。

² W エコシステム：エコジョーズに太陽光発電を組み合わせたシステム。

< 中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）における取り組み >

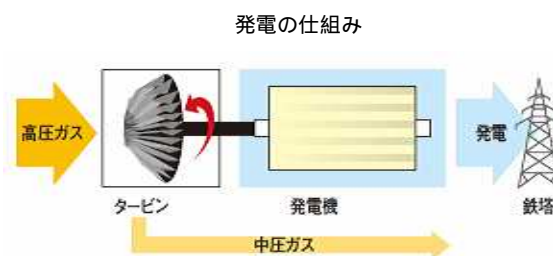
太陽光発電システムの販売開始

平成 22 年 6 月より既存一戸建て住宅を対象に太陽光発電システムの販売を開始しました。家庭用コージェネレーションシステム（エネファーム・エコウィル）と組み合わせたダブル発電システムなど、環境性や経済性に優れた「高効率ガス機器 + 太陽光発電」を提案していきます。



未利用エネルギーを活用した CO₂ 低排出発電システムの設置

都市ガスを減圧する際の圧力差によってタービンを回転させ発電する CO₂ 低排出発電システムを関東圏で初めて導入しました。これまで未利用であったエネルギーを有効に活用する環境にやさしい発電システムです。平成 21 年の発電量は 4,048,550kWh で、一般的な火力発電所における発電に比べて CO₂ を 1,584t 削減しました。



(3) 新技術の開発・導入

スマートハウス¹に関する検証試験やスマートエネルギーネットワーク²、次世代家庭用燃料電池 (SOFC³) などの調査・研究に取り組むとともに、非開削工法などの環境負荷の軽減につながる技術開発を推進します。

- 1 スマートハウス：家庭用燃料電池と太陽電池、蓄電池を組み合わせたエネルギー利用の最適化を図る住宅。
- 2 スマートエネルギーネットワーク：分散型エネルギーシステムと大規模集中電力、熱エネルギーの流通などを組み合わせ、エネルギーの効率的利用や新エネルギーの有効活用を促進するシステム。
- 3 SOFC (固体酸化物形燃料電池)：電解質がセラミックスでできている燃料電池。動作温度が 800～1000 と高温で、高い発電効率を有する。

< 中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）における取り組み >

エコウィルを活用した野菜・イチゴ栽培技術の開発

千葉大学、東京電機大学と共同で「エコウィル」をイチゴ栽培に利用するシステムの研究に取り組んでいます。このシステムはエコウィルの排気ガス中の CO₂ を光合成に利用して成長を促進させるもので、省エネルギーへの貢献と生産性を向上させる技術として期待されており、平成 22 年より商品化しました。



3. 持続的発展を見据えた総合力の強化

(1) 経営基盤の強化

オール京葉ガスで連携を強化して効率的な事業運営を推進することで、持続的な発展の礎となる経営基盤を強化します。

オール京葉ガスとしての連携強化

グループ会社、ビジネスパートナー、京葉ガスの総力を結集して、オール京葉ガスでの業務プロセス改善を重ねることで、お客さまに提供する価値を高めるとともに、事業運営の効率化を図ります。

経営効率化の推進

コスト抑制や経営環境の変化に対応した効果的な経営資源の配分を継続的に行うとともに、創意工夫による業務運営や設備運用などの改善に取り組み、業務全般にわたる効率化を推進します。

< 中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）における取り組み >

ガス料金改定の実施

平成 20 年 11 月に供給約款および選択約款をあわせた小口部門で平均 0.51%の引き下げとなるガス料金の改定を行いました。また、選択約款にガス灯契約を新設しました。



(2) 人財の強化

人事交流の推進、女性社員や中高年層の活躍の場の拡大などにより人財の能力を最大限に引き出すとともに、能力向上の PDCA サイクルにより「自ら考え、行動できる人財」を育成します。

< 中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）における取り組み >

社員教育体系の再構築

平成 22 年に社員が目指す人材像を「自ら考え、行動できる人財」と位置づけ、社員の教育体系を見直し、「基盤育成研修」「年齢別研修」「昇格時研修」「役職別研修」などの研修プログラムを整備しました。



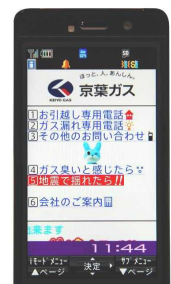
(3) IT 活用の深化

平成 23 年にオープン系システムへの完全移行を完了させるとともに、IT インフラの計画的入替やセキュリティ対策により情報システムを安定的・効率的に運用します。また、お客さまお申し出システムの刷新など、お客さまに提供するサービスと業務品質・効率性の向上に資する IT 活用を推進します。

< 中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）における取り組み >

モバイルサイトの開設

平成 21 年に開設したモバイルサイトは、ガス漏れ専用電話とお客さまコールセンターなどの電話窓口の案内のほか、ガス臭い場合や地震の際にガスが止まった場合の対処法をイラスト入りで紹介するなど、お客さまに安心してガスをお使いいただくための情報を提供しています。



(4) 社会貢献の推進

地域に根ざしたエネルギー事業者として地域のお客さまや社会から信頼されるために、社会貢献活動、公正な事業活動、環境保全活動に積極的に取り組みます。

社会貢献活動の推進

地域社会の一員として地域のお客さまや社会から共感・信頼を得るために、地域振興・社会福祉、次世代教育・食育などの地域に密着した活動を全社員参加型で推進します。

< 中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）における取り組み >

チャリティコンサートの開催

「チャリティー募金を通じた社会福祉への貢献」を目的に、無料でお客さまをご招待しています。平成 9 年の開催以来、毎年素敵なゲストをお迎えし、ご好評をいただいています。会場でお客さまからお預かりした募金は、地域の社会福祉協議会に寄託しています。

14 回目となる平成 22 年は、1,805 人のお客さまが来場しました。



絵画コンクールの開催

平成 9 年から当社のガスの供給エリアの小学校および在住の児童を対象に絵画コンクールを開催しています。供給エリア内各市の教育委員会にも後援いただき、平成 22 年は 239 校から 23,482 点もの作品が寄せられました。



出張授業の実施

楽しく親しみやすい体験を通して、子供たちに身近なところからエネルギーや環境問題への関心をもっていただくため、小中学校を対象とした次世代教育に取り組んでいます。平成 21 年は 24 校に延べ 79 回の出張授業を行いました。



コンプライアンスの推進

オール京葉ガスでのコンプライアンス意識の浸透に向けて、教育メニュー・ツールの充実や推進体制を強化することで、倫理性の高い公正な事業活動を徹底します。

環境への取り組み

エネルギー消費原単位年平均 1%削減に向けた省エネルギー活動や 3R（リデュース、リユース、リサイクル）活動による廃棄物抑制を推進するとともに、「京葉ガス エコ・グリーンサポート」などの地域と連携した環境保全活動の充実に取り組みます。

< 中期経営計画（平成 20 年～平成 22 年）における取り組み >

京葉ガス エコ・グリーンサポートの開始

高効率ガス給湯器¹の販売台数に応じて地域行政へ環境保全活動資金を寄付する「京葉ガス エコ・グリーンサポート」を開始しました。平成 22 年は当社がガスをお届けしている地区の 7 市²へ 143 万円を寄付しました。

1：エネファーム、エコウィル、エコジョーズ

2：市川市、船橋市、松戸市、柏市、鎌ヶ谷市、浦安市、白井市

京葉ガス エコ・アクションサポートの開始

地域の環境保全活動の広がりや持続可能な社会の実現に貢献することを目的に、環境保全活動を行う団体に対して助成金を交付する「京葉ガス エコ・アクションサポート」を平成 22 年より開始しました。





本資料の内容は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、さまざまな要因により、本資料の予想と異なる結果となることがあります。